

令和7年第4回東海村議会定例会行政報告等要旨

令和7年12月1日

令和7年第4回東海村議会定例会の開会に当たり、行政報告等を申し述べさせていただきます。

始めに、「わかもののまちサミット2025」についてでございます。

去る11月16日、東日本地域で初めての「わかもののまちサミット2025」が、国内各地の高校生や大学生、ユース組織、自治体職員など約150名の参加の下、本村で開催されました。

また前日には、今回初めての「ユースカウンシル サミット」が開催され、本村の“わかもの会議”的メンバーも、全国から集まった約50名の参加者に混ざり、各地で活動中の高校生や大学生と大いに交流することができました。

今回のサミットは、“わかもののまちづくり”に取り組む団体等がお互いの実践や研究から学び合い、“つながる場”“きっかけづくりの場”として、活発な議論を通じて、“こども・わかもの政策”や若者について考え、気付きを得る貴重な機会となりました。

本村の“わかもの会議”は、活動開始から3年目を迎えたばかりの新しい団体ですが、サミットの司会やパネリストを務めるとともに、全国からのゲストを温かく迎えるなど、ホスト自治体の若者代表として大いに活躍され、確かなる成長を感じたところでもございます。

この開催をひとつの契機として、引き続き、「こども・わかものが活躍する、住みごこちのよい暮らしやすいまちの実現」に向け、一つ一つを着実に進めてまいりたいと考えております。

次に、「Astemoアステモリヴァーレ茨城との協定の締結」についてでございます。

今般、ひたちなか市を拠点に活動中の女子バレーボールチーム「Astemoアステモリヴァーレ茨城」との相互支援・協力を図るため、今月17日に“フレンドリータウン協定”を締結する運びとなりました。

この協定締結によって、これまでも取り組んできたスポーツ教室の開催や、イベント等への選手の出演、SNS等を活用した魅力発信など、スポーツを通じた地域振興やスポーツ人口の裾野の拡大、村民の健康増進による活力あるまちづくりに一層厚みが増すものと期待しております。

年明けの1月17日と18日には、「東海村の日」として

ホームゲームの開催も予定されているところであり、本村としましても、チーム・選手と村民の皆さんとの交流を深め、「Astemo リヴァーレ茨城」を応援してまいりたいと考えております。

それでは、行政報告の案件を申し上げます。

**報告第18号及び報告第19号 寄附の受入れにつきましては、報告第18号がエーテック株式会社 代表取締役
社長 久家 伸司 氏から、子どもたちのためにと10万円の
寄附の申出があったもの、また、報告第19号は、明治安田
生命保険相互会社 水戸支社 支社長 中平 泰弘 氏から、
健康増進・地域活性化のためにと、30万3千円の寄附の
申出があったものであり、これらを受け入れましたので、
議会に報告するものでございます。**

以上で行政報告といたします。